

学校における働き方改革に向けて

安芸市立小・中学校の教職員を対象に、働き方改革を推進します

目 的

教職員のワーク・ライフバランスのとれた生活を実現し、心身ともに健康な状態で教育活動に専念できる環境を確保することで、学校教育の充実と質の向上につなげる。

目 標

★時間外在校時間の短縮

時間外在校時間が月 45 時間以内の教職員の割合が全体の **65%以上**に
(R7 実績:59%)

★年休取得率の向上

教職員一人当たりの平均年休取得日数が年間 **15 日以上**を継続
(R7 実績:15日)

★健康の保持

ストレスチェックによる高ストレス者の割合が教職員全体の **5%以下**に
(R7 実績:10%)



推進のための 3 つの柱

1 学校の業務改善

- 校務支援システムの活用
- 部活動の適正化
- ICT の活用
- 学校行事の精選と改善
- 会議のオンライン実施
- 教材の保持・共有による授業準備の削減
- 標準的な業務の明確化
- 共同学校事務室の機能充実

2 外部人材の積極的活用

- 地域人材を活用した教職員の業務支援
- 地域ボランティアの活用
- コミュニティ・スクールの充実
- 支援員等の配置
- 部活動サポーターの活用
- 部活動の地域移行に関する検討

3 教職員の意識改革

- ストレスチェックの実施
- 医師による面接指導の実施
- 健康診断の実施
- 管理職による指導・助言
- 働き方改革の取組好事例の紹介
- 目標とする最終退校時刻の設定
- 夏季休業中の学校閉庁日の設定
- 定時退校日の積極的導入